

【参考資料】

・重要伝統的建造物群保存地区の数

	現在	新規選定	累 計
重要伝統的建造物群保存地区数	1 1 7 地区	1 地区	1 1 8 地区
（所在都道府県数）	4 3 道府県	（ 1 県）	4 3 道府県
（所在市町村数）	9 7 市町村	1 市	9 8 市町村

※新規選定における（ ）内の数字は、左欄の内数

・重要伝統的建造物群保存地区選定基準（昭和 50 年 11 月 20 日文部省告示第 157 号）

伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの

- （一）伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- （二）伝統的建造物群及び地割ちわりがよく旧態を保持しているもの
- （三）伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

【新規】天正年間の町割と市立に始まり、在郷町・醸造町として発展した蔵の町並み

喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区

所在地 福島県喜多方市字中町及び字南町の全域並びに字北町上、字馬場、字北町、字加登、字桜町、字寺南、字宮西、字大豆田、字蒔田、字惣座宮、字五ノ神、字長面、字石田、字西町、字西井戸尻、字井戸尻、字六枚長及び字東町の各一部

面積 約15.5ヘクタール

喜多方市は、福島県の会津地方北部に市域を置く。小田付は、市域中央部を南流する田付川の東岸における微高地に位置し、西岸の小荒井とともに、市の中心市街地を成す。

現在の小田付は、天正10年（1582）に蘆名氏重臣の佐瀬種常が町割を行い、近村から定期市を移したことに始まる。会津では、天正18年（1590）から約100年間、半石半永による徴税が行われたため、領主は農村部の商品流通を促すために主要郷村に定期市の開催を許可し、これを統制した。小田付村でも市が賑わい、豊富な伏流水を背景に酒・味噌・醤油の醸造が早くから行われた。やがて、富裕商人による常設的な商売や近在農民による市場外の直商いが増えると、定期市は衰退し、近世中期から後期にかけて店が並ぶ町並が形成・拡大し、小田付村は在郷町としての性格を強めた。明治元年（1868）の戊辰戦争で大きな被害を受けたが、それ以前の地割を引き継ぎ復興し、明治中期以降は会津三方道路や鉄道の開通により販路を広げ、今日まで会津の要地を成してきた。

喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区は、近世に在郷町として発達した南北約900メートル、東西約500メートル、面積約15.5ヘクタールの範囲である。佐牟乃神社から南に延びる表通りの両側に短冊状の敷地を並べ、この両側町の各街区中央には中堀と呼ばれる水路が南北に通る。このような地割は、明治4年頃の「岩代国耶麻郡小田付村絵図」（喜多方市蔵）に描かれる状況を良く引き継ぐ。

敷地には、表通りに面して店、その奥に主屋や蔵座敷を配し、中堀より後に附属屋や業務施設を建てる。店は、切妻造、平入を基本とし、正面に下屋を設ける。土蔵造の店は店蔵と呼ばれ、店蔵、蔵座敷、家財蔵、穀蔵、醸造蔵等、用途や規模が異なる多様な土蔵造の建物が群として残ることが、当地の特徴の一つである。

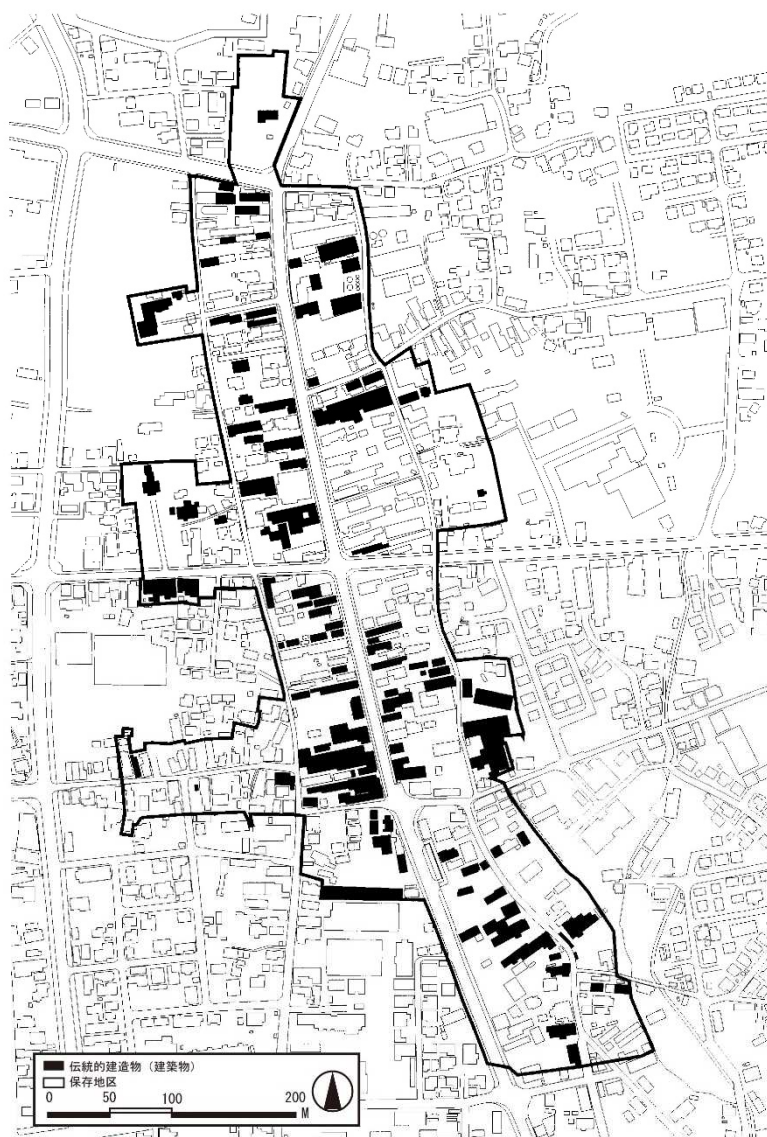
喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区は、天正年間の町割に始まり、定期市により会津北方の交易の中心として近世に発展を遂げた在郷町である。酒・味噌・醤油の醸造業も盛んになり、近代以降も会津の要地としての地位を保ちながら、近世末期の地割の上に店蔵など多様な土蔵が並ぶ特徴的な歴史的風致を形成し、我が国にとって貴重である。



【写真1】店蔵が並ぶ町並み

【写真2】幕末に遡るとされる店蔵（左）と、土蔵群

（写真1，写真2共に提供は喜多方市教育委員会）



喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区の範囲

【追加】都市計画道路の廃止に伴い、旧寺内町^{じないまち}全域を保存地区に

富田林市富田林伝統的建造物群保存地区

所在地 大阪府富田林市富田林町^{とんだばやしちょう}及び本町^{ほんまち}の各一部

面積 約12.9ヘクタール（内 拡大 約1.9ヘクタール）

富田林市は、大阪府南東部、南河内地域^{みなみかわち}に位置し、市域中央には石川^{いしかわ}が流れる。富田林は、永禄年間^{えいろく}の初めに真宗興正派興正寺別院^{こうしょうじ}を核とする寺内町^{じないまち}が、石川左岸の河岸段丘上に建設されたことを始まりとする。江戸時代には多様な職種が集まる在郷町^{ざいこうまち}として栄え、江戸後期には木綿商や酒造業が発達して近江や紀伊、江戸等に販路を広げた。明治以降も郡役所や町役場が置かれるなど南河内の中核であったが、昭和期の市街地拡大に伴い周辺駅の付近に商業施設や公共施設が移ると、住宅地としての性格を強めて今日に至る。

平成9年10月には、旧寺内町のうち西側の一部を除く約11.0ヘクタールが重要伝統的建造物群保存地区に選定された。今回追加選定するのは、既選定保存地区の西側に続く約1.9ヘクタールの範囲で、富田林市が平成25年8月にこの範囲内の都市計画道路を廃止し、平成30年3月に伝統的建造物群保存地区として地区決定したことに伴う。これによって重要伝統的建造物群保存地区は東西約470メートル、南北約400メートル、面積約12.9ヘクタールとなって、旧寺内町の全域を含むこととなる。

追加選定後の保存地区には、寺内町の骨格を引き継ぐとされる東西7町・南北6筋の町割が全体として良好に残り、その周囲には地形の特徴を伝える土居跡や石垣を見せる。規則的に区画された街区には背割水路^{せわりすいろう}が随所に残り、寺内町の成立と発展を伝える興正寺別院（本堂ほか5棟が重要文化財）、妙慶寺^{みょうけいじ}、浄谷寺^{じょうこくじ}の3寺院が江戸時代の寺観を表す。江戸時代前期の建築と見られる旧杉山家住宅（主屋が重要文化財）をはじめとする本瓦葺^{ほんがわらぶき}、大壁造^{おおかべづくり}の重厚な商家から昭和中期の真壁造^{しんかべづくり}の町家主屋や長屋まで、伝統的な家屋が軒を連ね、時代の特徴を示す近代の建築等が所々で町並み景観に変化を与える。

富田林市富田林伝統的建造物群保存地区は、中世末期に形成された寺内町の骨格を引き継ぎながら、江戸時代には在郷町として、近代には南河内の中核都市として発展した歴史的市街地である。本瓦葺、大壁造の重厚な商家をはじめ、江戸時代から昭和中期までの各時代の特徴を成す町家や寺院等が一体となり、寺内町を起源とする特色ある歴史的風致を良好に伝え、我が国にとって価値が高い。

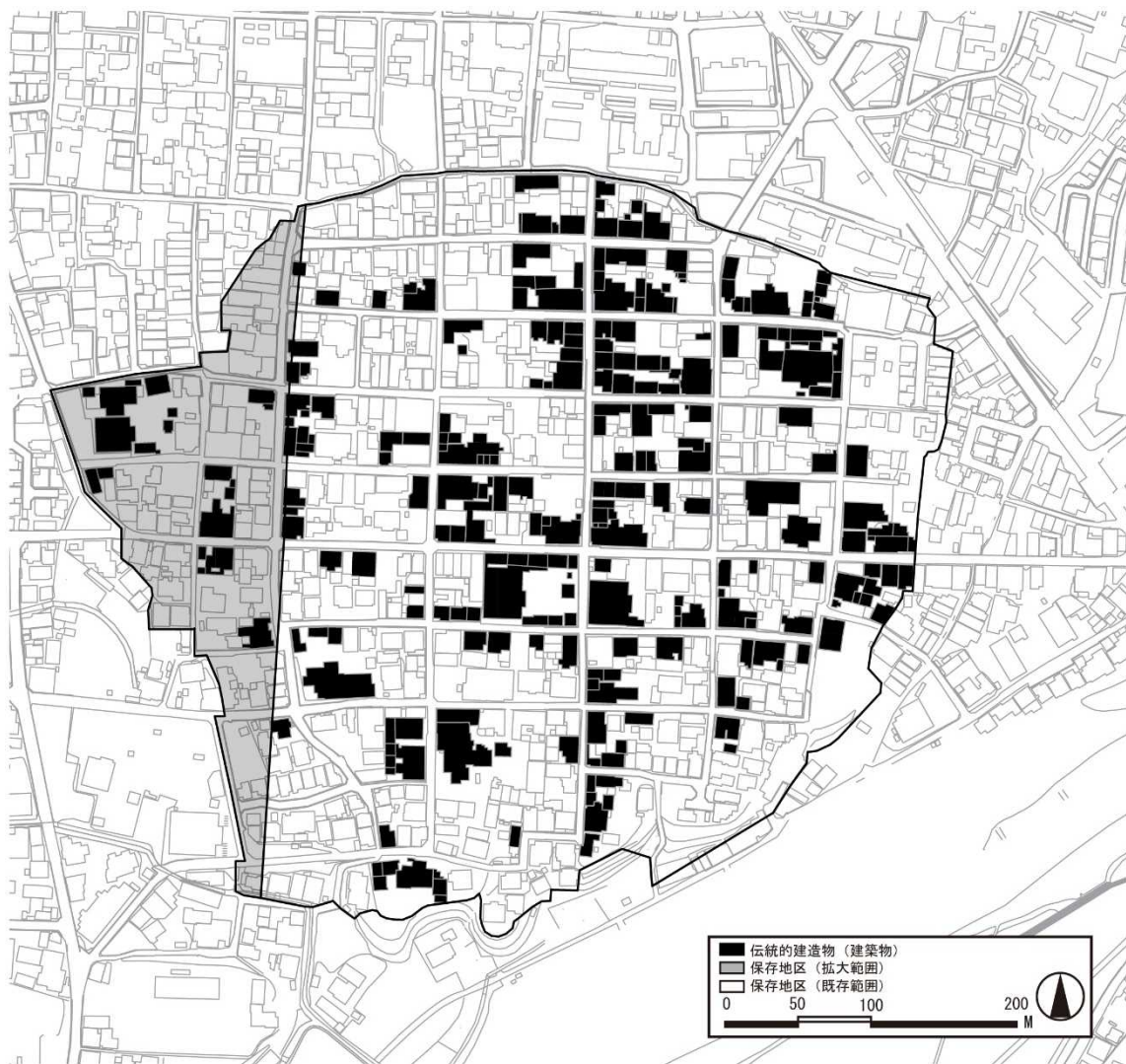


【写真1】既選定保存地区の町並み



【写真2】追加選定区域の町並み

(写真1, 写真2共に提供は富田林市教育委員会)



富田林市富田林伝統的建造物群保存地区の範囲

(参考) 重要伝統的建造物群保存地区一覧 (官報告示後)

No	道府県	地区名称	種 別	選定年月日 (拡大年月)	選定 基準	面積(ha)
1	北海道	函館市元町末広町	港町	平 1. 4. 21	(三)	14.5
2	青森	弘前市仲町	武家町	昭 53. 5. 31	(二)	10.6
3	青森	黒石市中町	商家町	平 17. 7. 22	(一)	3.1
4	岩手	金ヶ崎町城内諏訪小路	武家町	平 13. 6. 15	(二)	34.8
5	宮城	村田町村田	商家町	平 26. 9. 18	(一)	7.4
6	秋田	横手市増田	在郷町	平 25. 12. 27	(二)	10.6
7	秋田	仙北市角館	武家町	昭 51. 9. 4	(二)	6.9
8	福島	下郷町大内宿	宿場町	昭 56. 4. 18	(三)	11.3
9	福島	南会津町前沢	山村集落	平 23. 6. 20	(三)	13.3
10	福島	喜多方市小田付	在郷町・醸造町	-	(二)	15.5
11	茨城	桜川市真壁	在郷町	平 22. 6. 29	(二)	17.6
12	栃木	栃木市嘉右衛門町	在郷町	平 24. 7. 9	(二)	9.6
13	群馬	桐生市桐生新町	製織町	平 24. 7. 9	(二)	13.4
14	群馬	中之条町六合赤岩	山村・養蚕集落	平 18. 7. 5	(三)	63.0
15	埼玉	川越市川越	商家町	平 11. 12. 1	(一)	7.8
16	千葉	香取市佐原	商家町	平 8. 12. 10	(三)	7.1
17	新潟	佐渡市宿根木	港町	平 3. 4. 30	(三)	28.5
18	富山	高岡市山町筋	商家町	平 12. 12. 4	(一)	5.5
19	富山	高岡市金屋町	鋳物師町	平 24. 12. 28	(一)	6.4
20	富山	南砺市相倉	山村集落	平 6. 12. 21	(三)	18.0
21	富山	南砺市菅沼	山村集落	平 6. 12. 21	(三)	4.4
22	石川	金沢市東山ひがし	茶屋町	平 13. 11. 14	(一)	1.8
23	石川	金沢市主計町	茶屋町	平 20. 6. 9	(一)	0.6
24	石川	金沢市卯辰山麓	寺町	平 23. 11. 29	(二)	22.1
25	石川	金沢市寺町台	寺町	平 24. 12. 28	(二)	22.0
26	石川	輪島市黒島地区	船主集落	平 21. 6. 30	(二)	20.5
27	石川	加賀市加賀橋立	船主集落	平 17. 12. 27	(二)	11.0
28	石川	加賀市加賀東谷	山村集落	平 23. 11. 29	(三)	151.8
29	石川	白山市白峰	山村・養蚕集落	平 24. 7. 9	(三)	10.7
30	福井	小浜市小浜西組	商家町・茶屋町	平 20. 6. 9	(二)	19.1
31	福井	若狭町熊川宿	宿場町	平 8. 7. 9	(三)	10.8
32	山梨	甲州市塩山下小田原上条	山村・養蚕集落	平 27. 7. 8	(三)	15.1

33	山梨	早川町赤沢	山村・講中宿	平 5. 7. 14	(三)	25. 6
34	長野	長野市戸隠	宿坊群・門前町	平 29. 2. 23	(二)	73. 3
35	長野	塩尻市奈良井	宿場町	昭 53. 5. 31	(三)	17. 6
36	長野	塩尻市木曾平沢	漆工町	平 18. 7. 5	(二)	12. 5
37	長野	千曲市稲荷山	商家町	平 26. 12. 10	(二)	13. 0
38	長野	東御市海野宿	宿場・養蚕町	昭 62. 4. 28	(一)	13. 2
39	長野	南木曾町妻籠宿	宿場町	昭 51. 9. 4	(三)	1, 245. 4
40	長野	白馬村青鬼	山村集落	平 12. 12. 4	(三)	59. 7
41	岐阜	高山市三町	商家町	昭 54. 2. 3 (平 9. 5. 29)	(一)	4. 4
42	岐阜	高山市下二之町大新町	商家町	平 16. 7. 6	(一)	6. 6
43	岐阜	美濃市美濃町	商家町	平 11. 5. 13	(一)	9. 3
44	岐阜	恵那市岩村町本通り	商家町	平 10. 4. 17	(三)	14. 6
45	岐阜	郡上市郡上八幡北町	城下町	平 24. 12. 28	(三)	14. 1
46	岐阜	白川村荻町	山村集落	昭 51. 9. 4	(三)	45. 6
47	静岡	焼津市花沢	山村集落	平 26. 9. 18	(三)	19. 5
48	愛知	名古屋市有松	染織町	平 28. 7. 25	(一)	7. 3
49	愛知	豊田市足助	商家町	平 23. 6. 20	(一)	21. 5
50	三重	亀山市関宿	宿場町	昭 59. 12. 10	(三)	25. 0
51	滋賀	大津市坂本	里坊群・門前町	平 9. 10. 31	(三)	28. 7
52	滋賀	彦根市河原町芹町地区	商家町	平 28. 7. 25	(二)	5. 0
53	滋賀	近江八幡市八幡	商家町	平 3. 4. 30	(一)	13. 1
54	滋賀	東近江市五個荘金堂	農村集落	平 10. 12. 25	(三)	32. 2
55	京都	京都市上賀茂	社家町	昭 63. 12. 16	(三)	2. 7
56	京都	京都市産寧坂	門前町	昭 51. 9. 4 (平 8. 7. 9)	(三)	8. 2
57	京都	京都市祇園新橋	茶屋町	昭 51. 9. 4	(一)	1. 4
58	京都	京都市嵯峨鳥居本	門前町	昭 54. 5. 21	(三)	2. 6
59	京都	南丹市美山町北	山村集落	平 5. 12. 8	(三)	127. 5
60	京都	伊根町伊根浦	漁村集落	平 17. 7. 22	(三)	310. 2
61	京都	与謝野町加悦	製織町	平 17. 12. 27	(二)	12. 0
62	大阪	富田林市富田林	寺内町・在郷町	平 9.10.31 (-)	(一)	12.9
63	兵庫	神戸市北野町山本通	港町	昭 55. 4. 10	(一)	9. 3
64	兵庫	豊岡市出石	城下町	平 19. 12. 4	(二)	23. 1
65	兵庫	篠山市篠山	城下町	平 16. 12. 10	(二)	40. 2
66	兵庫	篠山市福住	宿場町・農村集落	平 24. 12. 28	(三)	25. 2

67	兵庫	養父市大屋町大杉	山村・養蚕集落	平 29. 7. 31	(三)	5. 8
68	奈良	橿原市今井町	寺内町・在郷町	平 5. 12. 8	(一)	17. 4
69	奈良	五條市五條新町	商家町	平 22. 12. 24	(一)	7. 0
70	奈良	宇陀市松山	商家町	平 18. 7. 5	(一)	17. 0
71	和歌山	湯浅町湯浅	醸造町	平 18. 12. 19	(二)	6. 3
72	鳥取	倉吉市打吹玉川	商家町	平 10. 12. 25 (平 22. 12. 24)	(一)	9. 2
73	鳥取	大山町所子	農村集落	平 25. 12. 27	(三)	25. 8
74	島根	大田市大森銀山	鉾山町	昭 62. 12. 5 (平 19. 12. 4)	(三)	162. 7
75	島根	大田市温泉津	港町・温泉町	平 16. 7. 6 (平 21. 12. 8)	(二)	36. 6
76	島根	津和野町津和野	武家町・商家町	平 25. 8. 7	(二)	11. 1
77	岡山	倉敷市倉敷川畔	商家町	昭 54. 5. 21 (平 10. 12. 25)	(一)	15. 0
78	岡山	津山市城東	商家町	平 25. 8. 7	(一)	8. 1
79	岡山	高梁市吹屋	鉾山町	昭 52. 5. 18	(三)	6. 4
80	広島	呉市豊町御手洗	港町	平 6. 7. 4	(二)	6. 9
81	広島	竹原市竹原地区	製塩町	昭 57. 12. 16	(一)	5. 0
82	広島	福山市鞆町	港町	平 29. 11. 28	(二)	8. 6
83	山口	萩市堀内地区	武家町	昭 51. 9. 4 (昭 53. 5. 31)	(二)	55. 0
84	山口	萩市平安古地区	武家町	昭 51. 9. 4 (平 5. 12. 8)	(二)	4. 0
85	山口	萩市浜崎	港町	平 13. 11. 14	(二)	10. 3
86	山口	萩市佐々並市	宿場町	平 23. 6. 20	(二)	20. 8
87	山口	柳井市古市金屋	商家町	昭 59. 12. 10	(一)	1. 7
88	徳島	美馬市脇町南町	商家町	昭 63. 12. 16	(一)	5. 3
89	徳島	三好市東祖谷山村落合	山村集落	平 17. 12. 27	(三)	32. 3
90	徳島	牟岐町出羽島	漁村集落	平 29. 2. 23	(三)	3. 7
91	香川	丸亀市塩飽本島町笠島	港町	昭 60. 4. 13	(三)	13. 1
92	愛媛	西予市宇和町卯之町	在郷町	平 21. 12. 8	(二)	4. 9
93	愛媛	内子町八日市護国	製蠟町	昭 57. 4. 17	(三)	3. 5
94	高知	室戸市吉良川町	在郷町	平 9. 10. 31	(一)	18. 3
95	高知	安芸市土居廓中	武家町	平 24. 7. 9	(二)	9. 2
96	福岡	八女市八女福島	商家町	平 14. 5. 23	(二)	19. 8
97	福岡	八女市黒木	在郷町	平 21. 6. 30	(三)	18. 4

98	福岡	うきは市筑後吉井	在郷町	平 8. 12. 10	(三)	20. 7
99	福岡	うきは市新川田竈	山村集落	平 24. 7. 9	(三)	71. 2
100	福岡	朝倉市秋月	城下町	平 10. 4. 17	(二)	58. 6
101	佐賀	鹿島市浜庄津町浜金屋町	港町・在郷町	平 18. 7. 5	(二)	2. 0
102	佐賀	鹿島市浜中町八本木宿	醸造町	平 18. 7. 5	(一)	6. 7
103	佐賀	嬉野市塩田津	商家町	平 17. 12. 27	(二)	12. 8
104	佐賀	有田町有田内山	製磁町	平 3. 4. 30	(三)	15. 9
105	長崎	長崎市東山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	7. 5
106	長崎	長崎市南山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	17. 0
107	長崎	平戸市大島村神浦	港町	平 20. 6. 9	(二)	21. 2
108	長崎	雲仙市神代小路	武家町	平 17. 7. 22	(二)	9. 8
109	大分	日田市豆田町	商家町	平 16. 12. 10	(二)	10. 7
110	大分	杵築市北台南台	武家町	平 29. 11. 28	(二)	16. 1
111	宮崎	日南市飢肥	武家町	昭 52. 5. 18	(二)	19. 8
112	宮崎	日向市美々津	港町	昭 61. 12. 8	(二)	7. 2
113	宮崎	椎葉村十根川	山村集落	平 10. 12. 25	(三)	39. 9
114	鹿児島	出水市出水麓	武家町	平 7. 12. 26	(二)	43. 8
115	鹿児島	薩摩川内市入来麓	武家町	平 15. 12. 25	(二)	19. 2
116	鹿児島	南九州市知覧	武家町	昭 56. 11. 30	(二)	18. 6
117	沖縄	渡名喜村渡名喜島	島の農村集落	平 12. 5. 25	(三)	21. 4
118	沖縄	竹富町竹富島	島の農村集落	昭 62. 4. 28	(三)	38. 3
	合 計	43 道府県 97 市町村 117 地区				3908
	合 計 (新規選定候補を含む)	43 道府県 98 市町村 118 地区				3925